している。認定農業者に対する特別支援枠での支援については、従来からある制度資金融資事業のスーパーL資金や農業近代化資金等の活用を積極的にお願いしたい。

(2)市としては、平成20年度から21年度において、各地区事業費のうち100万円を上限として市民プロジェクト支援助成金を交付し、基盤づくりを支援する。22年度以降については、各地区での事業継続を期待している。

(その他の質問事項)

・平成21年度予算編成について

テニスコートの増設については、先の市議会で「スポーツ施設建設の最優先課題の一つとして取り組んでいきたい。今後ともテニスコート建設実現に向けて、具体的に調査し、取り組み、何とか2年ぐらいの中で、方向付けをしたい」と大変前向きな答弁をいただいた。その中にあって、テニスコートの一番の適地としては、旧体育館の跡ではないかと思う。市の考え方についてお尋ねしたい。

市民生活部長　(1)この件に関して、大村警察署へ問い合わせを行ったところ、警察署としても時差式信号機に変更をするということで、県の公安委員会とも調整を行っているということである。

市長　(2)昨年12月議会において、旧真珠研究所跡地について再度文化財審議会に諮問すると答弁したところであるが、本年2月に文化財審議会に諮問した結果、当地におけるテニスコート建設計画については、これを取りやめ玖島城跡の保存顕彰に努められたいとの答申であった。

旧体育館跡地については、跡地利用計画の進捗状況もあり、検討を続けている。候補地の一つとして考えているところである。いずれにしてもこの2年ぐらいのうちに方向づけをしたい。

(その他の質問事項)

・ふるさと納税の進捗状況について

・公費による妊婦健診の増加について

大村公園前交差点の信号を時差信号にできないか!!
大村市営テニスコートの増設実現に向かって!!

永尾議員

(1)市民生活行政について

大村公園前交差点において、上り線、下り線、それぞれ両方から右折する場合に、直進車の車がとぎれないために、進行方向の信号機が赤色に変わった後に右折することが多く、横断歩道を横断している歩行者に対しても、大変危険な状況であり、早急に時差式信号機にできないかお尋ねしたい。

(2)教育行政について

大村公園前交差点

いまだ着工しない都市計画道路竹松駅前～今津線（旧空港線）

永石議員

(1)道路行政について

①昭和36年都市計画道路に認定されながらいまだ着工されていない竹松駅前～今津線は認定後未着工で見直し17路線の一つに入っています。今年中には継続か廃止の結論が出るようになっているが、整然とした道路づくりとますます発展している竹松地区のためには必要な道路である。市長としてやるのかやらないのか見解を尋ねます。

②街路樹剪定が今年は8月25日から始まった。昨年9月議会でも残暑と思えない酷暑の時に丸坊主にする批判や、すかし切りなどの剪定方法や時期をずらす等を指摘したが、改善されていない。どのような検討をされたのか。樹木の果たす役割をどう考えているのか。

(2)水源対策について

個々の家の屋根に降った雨水を地下水の涵養のため、浸透枡（空井戸）の設置や貯水槽を設置させ、設置奨励条例を作って補助金は出せないか。また、水源対策のための抜本対策はどう考えているのか。節水呼び掛けだけでは限界がある。

市長　(1)①竹松駅前空港線は、昭和36年に計画決定されており、早く方向づけをしないといけないと考えている。この道路は3区間に分け、他路線と同様、整備の必要性と実現性を各区間ごとに評価している。今後は全庁的な合意形成を図り、県や国土交通省と調整を行って原案を策定していく。変更または廃止するにしても、客観的な分析、情勢、そして地域住民の声にも配慮して最終決定をしていきたい。

都市整備部長　②街路樹剪定指導